

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月6日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	新城市	代表者名	穂積 亮次
担当者部署	総務部 情報システム課	連絡先電話番号	0536-23-7612
担当者役職		担当者氏名	
住所	441-1392 愛知県新城市字東入船1 1 5番地		

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	マイナンバーカード利活用とデータの利活用について、市の業務や実績を踏まえ、分かりやすくアドバイスをいただいた。理想論ではなく、具体的なアドバイスをいただいた点を評価する。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年8月2日	13時00分	17時30分		270
3-2. 派遣場所	会場名	新城市役所		最寄駅	JR飯田線 新城駅
	所在地	新城市字東入船1 1 5番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	マイナンバーカードの利活用は具体的にどのようなことか、またデジタル法を受けた電子申請やデータの利活用の重要性等、職員が理解できていないため、庁内で推進が出来ていない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	庁内横断で職員の意識や知識がある程度根底にある状態で、マイナンバーカードの利活用を検討・推進する体制を整える。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	姫路市のマイナンバーカードの実証実験や、データの利活用等の事例を紹介いただいた。それに対する職員の質疑応答に対応いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	マイナンバーカードの利活用について、職員の理解が進んだ。また、実際の実証実験の経験を把握したことで、意見が具体性を増した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	主管となって推進する課の決定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員理解を図ることが目的であったため、アンケートは次回とする。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

